令和２年第１回糸魚川市議会定例会会議録　第２号

令和２年３月２日（月曜日）

議事日程第２号

令和２年３月２日（月曜日）
〈午前１０時００分　開議〉

日程第１　　会議録署名議員の指名
日程第２　　行　政　報　告
日程第３　　一　般　質　問

本　日　の　会　議　に　付　し　た　事　件

日程第１　　会議録署名議員の指名
日程第２　　行　政　報　告
日程第３　　一　般　質　問

〈応招議員〉　　１９名

〈出席議員〉　　１９名

１番	平澤惣一郎	君	２番	東野恭行	君
３番	山本　剛	君	４番	吉川慶一	君
５番	中村　実	君	６番	滝川正義	君
７番	佐藤　孝	君	８番	新保峰孝	君
９番	田原　実	君	１０番	保坂　悟	君
１１番	笠原幸江	君	１２番	斉木　勇	君
１３番	髙澤　公	君	１５番	田中立一	君
１６番	古川　昇	君	１７番	渡辺重雄	君
１８番	松尾徹郎	君	１９番	五十嵐健一郎	君
２０番	吉岡静夫	君			

〈欠席議員〉　　０名

〈説明のため出席した者の職氏名〉

市長	米田　徹君	副市長	藤田年明君
総務部長	山本将世君	市民部長	五十嵐久英君
産業部長	見辺　太君	総務課長	渡辺成剛君
企画定住課長	渡辺孝志君	財政課長補佐	嵐口　守君
能生事務所長	土田昭一君	青海事務所長	穂苅　真君
市民課長	小林正広君	環境生活課長	高野一夫君
福祉事務所長	川合三喜八君	健康増進課長	池田　隆君
商工観光課長	大嶋利幸君	農林水産課長	猪又悦朗君
建設課長	五十嵐博文君	復興推進課長	斉藤喜代志君
会計課長 会計管理者兼務	山口和美君	ガス水道局長	樋口昭人君
消防長	丸山幸三君	教育長	井川賢一君
教育次長	磯野　茂君	教育委員会こども課長	磯野　豊君
教育委員会こども教育課長	泉　豊君	教育委員会生涯学習課長 中央公民館長兼務 市民図書館長兼務	小島治夫君
教育委員会文化振興課長 市民会館長兼務	伊藤章一郎君	監査委員事務局長	渡辺一彦君

〈事務局出席職員〉

局長	松木　靖君	次長	山川直樹君
係長	上野一樹君		

〈午前１０時００分　開議〉

○議長（中村　実君）

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

欠席通告議員はありません。

定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第１.会議録署名議員の指名

○議長（中村　実君）

日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、９番、田原　実議員、１９番、五十嵐健一郎議員を指名いたします。

日程第２.行政報告

○議長（中村　実君）

日程第２、行政報告について、市長から行政報告の申出がありますのでこれを許します。

米田市長。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

おはようございます。

一般質問の前にお時間をいただき、議員の皆様に新型コロナウイルス感染症に関する対応についてご報告申し上げます。

お手元の資料にもお示ししてありますが、１月３０日に国が新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、県において新型コロナウイルスによる肺炎に関する警戒本部会議が開催されたことを受け、翌３１日に市として新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を設置して、庁内の情報共有や市内公共施設に消毒液を配布するほか、手洗いやうがいの励行について周知を行ってまいりました。２月２５日に長野県において初の罹患者が出たことにより、翌２６日に連絡会議を警戒本部に切り替え、対応してまいりました。

報道でもありましたとおり、先週２７日、安倍首相から国の方針として、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、全国の小・中学校、高校、特別支援学校に向け、３月２日から春休みまで臨時休校を行うよう要請がありました。これらの状況を受け、警戒本部を２８日の１１時３０分時点で対策本部に切り替え、各学校の臨時休校に伴う対応やイベントなど、感染予防対策についての協議、国、県との情報共有などを行い、以下、３点について対応を決定し、学校や保護者、関係者に連絡をいたしました。

１点目は、市内小・中学校、特別支援学校の臨時休校についてであります。

当市といたしましては、明日３日から春休みまでの間、市内全小・中学校を休校とすることといたしました。また、特別支援学校については４日から休校といたします。なお、４日に予定されております中学校の卒業式は、卒業生と保護者、職員のみにより実施する予定といたしております。

２点目は、休校中に保護者が仕事等で日中見ることができない児童の受入れ態勢についてであります。

休校中の小学生の受入れは、放課後児童クラブにおいて無償で受け入れることとし、現在、市内９校で設置している放課後児童クラブを全校に拡大し、時間も夏休み同様、月曜日から土曜日までの午前８時から午後６時までといたします。また、保護者の負担を少しでも軽減する観点から、昼食の提供を行うことといたしております。なお、特別支援学校の受入れについては、学校施設を使って教職員と支援センターささゆりの職員が受け入れることといたしております。

３点目は、今後予定されております各種イベントの開催についてであります。

本定例会初日の行政報告において報告させていただいた北陸新幹線えちごトキめき鉄道開業５周

年記念イベント及び一般県道西中糸魚川線・西中バイパスの開通式につきましては、５周年記念イベントは延期、西中バイパス開通式については記念式典のみ開催といたしました。その他市で予定いたしておりました各種のイベントについても一定の基準の中で随時判断してまいります。現時点での各種イベントの中止や延期、縮小などの決定については、市ホームページのトップページで周知をいたしております。なお、２９日に新潟市において、県内初となる罹患者が発生いたしました。今後も県との連携を密にし、対応してまいります。

以上、現時点までの対応についてご報告をさせていただきましたが、状況は日々刻々と変化いたしております。本会期中にも新たな動きや早急な対応の必要な事案が発生する可能性がありますが、議会にも協議する中で進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をいただきたいと考えております。

お時間をいただきましてありがとうございました。

○議長（中村　実君）

これで行政報告は終わりました。

日程第３．一般質問

○議長（中村　実君）

日程第３、一般質問を行います。

発言通告者は１４人でありますが、議事の都合により、本日５人、３日５人、５日４人を予定しております。

一般質問の質問時間は、答弁を除き、１人３０分であります。所定の時間内に終わるよう、簡素に要領よくお願いいたします。また、質問は通告書の範囲内にとどめるよう、ご協力をお願いいたします。

通告順に発言を許します。

笠原幸江議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。　〔１１番　笠原幸江君登壇〕

○１１番（笠原幸江君）

おはようございます。清政クラブ、笠原幸江です。

事前に提出いたしました通告書に基づき、１回目の質問をさせていただきます。

１、新型コロナウイルスについて。

昨年１２月以降、中国湖北省武漢市において新型コロナウイルスが発生し、終息する気配がありません。関連情報が目まぐるしく報道され、新型コロナウイルスによる感染者の人数が日に日に増加し、２月１９日現在の報道によると、中国本土では、死者が２，０００人を突破している状況であります。新型コロナウイルスに対応できるワクチンが開発されていないことや、マスク、アルコール消毒液が不足していて購入できないことなど、市民がこの新型コロナウイルスに脅威を感じているのではないでしょうか。

新潟県では、新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談センターが糸魚川保健所（糸魚川地域振興局健康福祉部）に設置されていますが、国内でも相次ぐ感染状況を見ると、自分の身は自分で守るといっても感染力が強く、いつどこで感染したのか感染経路が難しくなっているのが現状です。

当市の２月１０日付の回覧物によると、感染力はほぼインフルエンザと同程度と言われ、過剰に心配することなく、せきエチケットや手洗い、うがい等通常の感染予防に努めてと呼びかけていますが、全国どこででも起こり得る状況を鑑み、市民の不安を少しでも払拭するために、市の全庁の取組と窓口開設、危機管理体制、市内の医療体制と検査体制について、市民と情報を共有するために伺います。

２つ目、糸魚川シーサイドバレースキー場の平成２８年度指定管理業務評価票について。

記録的な暖冬少雪が続き、当市のシーサイドバレースキー場はオープンできない状況となっていて、深刻な事態となり、１月３１日に今季の営業休止が決定されました。地球温暖化の影響が今後加速するのではないかとも危惧しています。スキー場のみならず、農作物や水産資源、さらに水不足と様々な産業や経済にも影響するのではないでしょうか。越後の雪は余寒に降ると言い伝えられていましたが、立春が過ぎても積雪がありません。そこで、深刻さが増している市内スキー場の現状と課題等について、以下の項目について伺います。

(1) 糸魚川シーサイドバレースキー場の評価票で、評価委員の意見は次のように述べられています。

① 自己評価がＣ評価（早急に改善対策を要するもの）になった以上、暖冬になった場合を想定した少雪対策案を始めとする今後の努力点や代替案を作成願いたいと明記されています。これらの努力点や代替案の対策をとられていますか伺います。

② 全体評価では、借地契約については、現状をいま一度確認の上、費用面等について調査、検討を行う必要があると考える。市は指定管理料を公費として支出する立場から、また、指定管理者は公費による運営を行う立場から、経費の流れを細かく分析していることが大切である。仮に前年度の実績に基づくだけの収支計画になってしまった場合、適切な運営から離れてしまうので、市はある程度の支出基準・判断基準を設けた上で比較分析するようにしていただきたい。評価制度化が安定してきている中、収支状況の項目を損益計算表の構成に合わせるなど改良願いたいと提案されていますが、経費の細分析、支出判断基準の比較分析、損益計算表の改良等について、どのように改善をされていますか伺います。

(2) 指定管理者の業務等の報告確認について。

① 地方自治法第２４４条の２第１０項で、指定管理者に対して、当該管理の業務または経理の状況に関し報告を求め、実施について調査し、または必要な指示をすることができると規定されています。シャルマン火打スキー場及び糸魚川シーサイドバレースキー場の報告時期と業務及び経理の報告内容は、どのようになっていますか伺います。

② 平成２４年６月定例会において、松尾徹郎議員の一般質問で、シャルマン火打スキー場及び糸魚川シーサイドバレースキー場の業務・経理の状況報告の項目及び内容がばらばらで比較できないことから、統一した報告書とすると答弁されてから６年経過しています。当然委員会審査には統一された資料で提出されるものと思いますが、いかがか伺います。

(3) シャルマン火打スキー場及び糸魚川シーサイドバレースキー場の内容の違いについて。

指定管理料の額の違いは明確であるが、管理料の根拠となる管理項目及び管理内容について、その違いが確認できないので、前段の業務及び経理資料統一と同じように、違いがはっきりと分かるような対比ができる資料の作成を要請したいが、いかがか伺います。

(4) リスク負担の限度について。

シーサイドバレースキー場のリスク負担については、市民からいろいろと意見が寄せられているが、リスク負担は青天井なのか、あるいは限度額を定めているのか、リスク負担の考え方を市民にわかりやすく、また、その時々でリスク負担の基準が変わらないよう文書表記できないか伺います。

(5) シーサイドバレースキー場に対し、これまで支援してきた総額について。

平成１０年に索道・土地・建物・備品等を市が買い取り、平成１３年に市有財産の賃貸借契約を行い、平成１８年に賃貸料を免除し、同年から指定管理者の指定をして管理料を支払ってきています。このスキー場の施設の買取り金額及びこれまでの指定管理料、施設の大規模修繕費等に当市が支払った総額はどれほどになっているか伺います。

(6) 自治体の収益事業に対する警告について。

バブル期に多くの自治体は収益事業に取り組んできましたが、成功例はほんのわずかで大部分が多額な負債を残して事業から撤退しています。県内でも失敗例が報告されています。当市も人口減少とともに交付税の減少等が続く中、行政需要が増加傾向にあり、国及び地方自治体は、収益事業に警鐘を鳴らし、今の時点から赤字経営の収益事業を見極め、財政健全化の取組をする必要があると考えますがいかがか伺います。

以上、１回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

笠原議員のご質問にお答えいたします。

１番目につきましては、先ほど行政報告で申し上げたとおり、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、対応に努めております。なお、検査や医療体制の整備については県が行っております。

また、市民の不安を払拭するためには、正しい知識の普及が大切であることから、ホームページや回覧で周知をしておりますが、今後も引き続き情報の提供に努めてまいります。

２番目の１点目の１つ目につきましては、主にグリーンシーズンの利用者数を増やす取組として、大学等の合宿や各種イベント等の誘致、ドローンの代理店販売などに力を入れてきたところであり、スキー場のゲレンデや駐車場を活用した新しい取組についても検討しているところであります。

２つ目につきましては、指定管理者に細目別の収支状況を求め、内容を分析した上で指導をいたしております。

２点目の１つ目につきましては、年度事業計画及び事業報告を年に１回、また、月例業務報告として、入り込み数や営業状況などを翌月１５日までに報告を受けているほか、必要に応じてヒアリングの実施や資料の提出を求めております。

２点目の２つ目及び３点目につきましては、収支計画書などの様式を見直しており、１２月市議会での指定管理者に関する議案の説明資料として提出した収支計画書は統一様式を使用しております。

４点目につきましては、市と指定管理者のリスク配分は、基本協定書に明記しており、市が負担する場合の上限額を定めております。

５点目につきましては、平成１０年取得時費用は約４億５，０００万円であり、１８年度から３０年度までの１３年間の指定管理料は約２億８，０００万円、大規模修繕料は約３億円であります。

６点目につきましては、スキー場等の収益事業は、観光や交流人口の拡大、雇用の場の確保などの経済波及効果やスポーツ振興といった公共面でのメリットもありますので、各施設の施設経過や収支を確認する中で、将来見込みなどを考慮し、進めていく必要があると考えております。

以上、ご質問にお答えいたしましたが、再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それでは、２回目の質問をさせていただきます。

冒頭に新型コロナウイルスに関する様々な資料提供と、それから、タブレットのほうにも糸魚川市の状況が即時に確認できるなど、早い対応をしていただいておることに敬意を表します。ありがとうございます。

それで、刻々と変わる情報の中で、糸魚川市は感染症対策本部、本部長を市長とする対応をここ数日間で本当に一気に多忙な時間を費やして、本当にご苦労なことだったなと考えております。

その中で、今日はどんどん変わってくるものですから、学童保育のことについてちょっと質問させていただきたいんですが、時間も、明日、３月３日から休業に入って、開始は８時から１８時までということで対応してくださるということで、子供さんを持っている保護者さんが職場を休んだときに今後どういうふうな対応をするのか検討をされておりますでしょうか。お聞かせ願いたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

磯野こども課長。　〔教育委員会こども課長　磯野　豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野　豊君）

お答えいたします。

今、児童クラブにつきましては、明日から開設するように、今様々な職員と支援員なり打ち合わせをやりまして今調整中であります。

この学校の休校というものは、あくまでも感染拡大防止、予防的措置で休校になるわけですけども、企業にお勤めの方でどうしても休めない方については学童保育で預かると。現場でこれから始めるに当たって、いろいろな課題が見えてきますが、柔軟に対応していきたいというふうに考えて

おります。

ご質問の保護者さんが企業を休むことになったというところまでは、今現段階では想定はしていない、今現段階では考えていないと、そのとき、そのときに課題に対して対処していきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

お答えいたします。

企業に対しての対応につきましては、我々は、当初考えておるのは、やはり社会性の強い企業や団体についての対応がやはり一番市民生活に影響を及ぼすという立場から、学童保育、児童クラブについて対応していくという形をとらせていただきました。

また、やはりそのようなことでお勤めの皆様方に影響が出てきますと社会生活に大きく影響が出るものを対応してまいりましたが、国のほうといたしましても企業に対する対応を発表いただきましたので、それについてはまだこれから当市で対応していきたいと考えておる次第であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

国の方針といたしましても正規の雇用、それから非正規職員であっても国が責任を持って対応するという報道がされておりますので、当本部の中でもしっかりとそれらが想定されるだろうという危機管理体制をしっかりと構築していただきたいと思います。それはぜひお願いします。

それと、学童保育の子供さんはいいんですけども、支援を必要とする生徒さんに対しては、今後どのようにされていくのか確認、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

磯野こども課長。　〔教育委員会こども課長　磯野　豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野　豊君）

学童保育を実施するに当たって、今現在、児童クラブで働いていただいている支援員だけではなく、学校が休校になることによって勤務が必要のないといいますか、例えば教育補助員であったり、教育相談センターの相談員さんが勤務が必要でなくなりますので、日頃そういった子供さんと接している方々も児童クラブに来ていただいて、そういった相談員としての身分で学童保育に当たっていただくということを今考えておりますので、そういった特別な支援を必要とするお子さんについては、個々にそういった方々に対応していただきたいという予定で今おります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

すみません、もう一度確認。

支援を必要とするお子さんについては、その先がちょっと聞き取れなかったんですけど、どういう対応をしっかりするのか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

磯野こども課長。　〔教育委員会こども課長　磯野　豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野　豊君）

すみません、説明がうまくなくて申し訳なかったんですが、日頃そういったお子さんと関わっている、学校で働いている教育補助員さんですとか相談員さんがいらっしゃいますので、そういった方々、学校が休校となりますので、そういった方々を児童クラブでそういったお子さんを見ていただくというような予定にしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

そうしますと、そういう支援の必要なお子さんであっても児童クラブのほうに来ていただければ対応していただけるということでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

磯野こども課長。　〔教育委員会こども課長　磯野　豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野　豊君）

はい。議員おっしゃるとおり受け入れていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それでは、庁内の職員の皆さんが今後出張だとか、それから研修だとか、様々なことが多分予定されてはいると思いますがそれらに対しての対応は、自粛とか中止とか、そういうものは本部のほうで全庁に要請はしてあるものなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

渡辺総務課長。　〔総務課長　渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

お答えします。

出張のまず状況でありますけども、２月の当初は通常に近い状態でありましたけども、先週あた

りから数からしますと５分の１以下に出張の回数は減っております。そうした中で、不要不急の出張については、必ず行かなければならないかどうか十分確認した上で出張するようにという呼びかけをしておりますし、また、プライベートの中でも、今発生をしている地域について、出かけることについても、どうしてもやむを得ないかどうか確認する中で慎重な対応をしてほしいということで、周知しているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それから、職員の方で臨時休校になりました、小さいお子さんをお持ちの職員の方の休暇の取りやすいような状況にしてあるのか。児童クラブ行っても、すごい多くの方が入ってくると、また児童クラブもあれだけど、お子さんが見たい、１カ月近く子供たちが臨時休校入りますので、それらについての職員への対応はどのようになっておりますか。休暇が取りやすいようなシフトにしてあるのか、これからやっていくのか。若い職員の方というか、小さな幼児のお子さんをお持ちの方にはどういうふうな対応をされるか。まずそれを確認。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

渡辺総務課長。　〔総務課長　渡辺成剛君登壇〕

○総務課長（渡辺成剛君）

まず、連休明けの先週の火曜日になりますが、職員向けに対して、次のことを心がけてくださいという周知をしております。発熱等の風邪症状が見られるときは休暇をとり、外出を控える。また、家族で症状が出た場合にも、学校や会社を控えるよう促すという基本的な考えを示しております。そうした中で、議員のご指摘のことにつきましては、また担当課長等がおりますので、ご説明させていただきたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

磯野こども課長。　〔教育委員会こども課長　磯野　豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野　豊君）

先ほど児童クラブで受入れが多くなるというお話もあったんですけれども、学校が休校になって、児童クラブの部屋では間に合わない場合は、学校の施設、例えば空き教室等で受け入れるような態勢を今学校とも詰めているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

私がお聞きしたのは、職員の方で、お子さんをお持ちの方で、どうしてもそのお子さんを、共働

きで見なきゃいけないと、いろんな状態が出てきたときに、市の中の業務が滞ることなくやっていくには、何かシフト体制とかそういうものをもう今から考えていったほうがいいと思うんですけど、考えておられますかということなんです。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

山本総務部長。　〔総務部長　山本将世君登壇〕

○総務部長（山本将世君）

お答えいたします。

職員でありましても、やはり先ほど放課後児童クラブ申し上げましたように、そういった部分をまずお使いいただけるのであれば、使った中で職務を果たしていただきたいと思っております。

ただ、今後の業務量にもよりますので、一概に休むなということでももちろんございませんけども、公務ある程度中心の中でやっていただきたいなというような気持ちで職員にはお願いしております。

ただ、シフト等につきましては、今後の業務量出てくる中で判断をさせていただいて、今の状況の中では、本部につきましては交代制の中で対応させていただいておりますが、他の仕事の部分の中で今そこまでのものの計画はしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

やっぱり新型コロナウイルスというのは、いつ、どこで、誰がどうなって、どこで感染したかというのが本当見えないものであります。人類は前からウイルスとの戦いになっていくんじゃないかなという話も聞いたことありますが、今まさに世界的な規模でこういう状態になってますので、庁内のそういう危機管理というものをしっかりとこれからも構築して、いつ、今回も早く本部が立ち上がったり、流れの中でやっているのを見てて、安心はしてるんですけれども、さらにまた拍車がかかるかもしれませんけども、やっていただきたいんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

山本総務部長。　〔総務部長　山本将世君登壇〕

○総務部長（山本将世君）

お答えいたします。

笠原議員おっしゃいますように今後の状況、どういった、場面、場面でその状況が変わってまいりますので、それに即時対応する形の中で、本部中心の中で検討し、進めさせていただきたいというように思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それから、ＰＣＲ検査についてちょっとお伺いしたいんですけども、これは、今度国のほうでも医療保険適用になるということなので、この検査というのは、例えば市内の検査体制というのは確立されているものなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

池田健康増進課長。　〔健康増進課長　池田　隆君登壇〕

○健康増進課長（池田　隆君）

仮に、市内で感染の疑われる方が出た場合、この方については、保健所と相談をしながら、県の保健環境科学研究所というところでＰＣＲ検査を行うという段取りになっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

心配の方は開業医とか、かかりつけのお医者さんなんかに電話して、それからどうされるかということを、市内の医療機関とはそういう話を、一応電話があったときにはそういう対応ができるような体制になっていますか、伺いたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

池田健康増進課長。　〔健康増進課長　池田　隆君登壇〕

○健康増進課長（池田　隆君）

去る２月６日に県それから市、医師会、薬剤師会、関係者が集まりまして、もし仮にそういう方が出た場合、どういう段取りで検査をして、そして必要な場合は入院をいただくような、そういう段取りについてはしっかり確認をさせていただいておるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

医師会さんというか、医師会さんとの連絡はどのようになってますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

池田健康増進課長。　〔健康増進課長　池田　隆君登壇〕

○健康増進課長（池田　隆君）

医師会につきましても、今ほど言いました２月６日に、振興局に医師会、それから病院関係、そして県、市が集まりまして、その辺の段取りについてはきちっと確認をさせていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

１回目の質問のときにも書いてあるんですが、市内でマスクが購入できない状態になっております。それは、担当課のほうでは承知してらっしゃいますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

池田健康増進課長。　〔健康増進課長　池田　隆君登壇〕

○健康増進課長（池田　隆君）

今、議員がおっしゃられたように、市内のどこのドラッグストア等に行っても、なかなかマスクというのが入手できません。そういう状況であるということは承知をしております。

ただ、報道を聞いておりますと、国の、政府のほうでは国策でマスクの供給に当たりたいということでありますので、いましばらくお待ちいただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

ぜひ今後も引き続きよろしくお願いいたします。

子供たちの命あるいは市民の健康について、危機管理体制をしっかりと持って取り組んでいっていただきたいことをお願いしておきます。

それから２つ目の、今度シーサイドバレースキー場なんですけれども、いかがでしょうかね。対策は取られましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

シーサイドバレースキー場につきましては、今シーズン必要な降雪がなかったということで、１月末で今シーズンの休業を決定したところでありますが、その後、必要な支援について協議をするとともに、スキー場としても引き続き収入の確保に向けて取り組んでいただいているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それでは、評価票の中に、この評価されるということなので、評価委員は何名で評価者はどなたとどなたがやられているかお答え願いたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

評価委員につきましては４名でありまして、民間の方３名、そして副市長１名であります。民間

の方につきましては税理士ということで、齋藤税理士、そして中央大学非常勤講師の齋藤講師、そして元銀行員ということで伊藤様からお願いしております。計４名でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

副市長も入っておられたんですね。今も藤田副市長入ってらっしゃるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

委員の中には副市長も入っております。委員長につきましては民間の方、齋藤税理士からなっていただいております。行政の立場として副市長から意見を言ってくれております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

これは、シーサイドバレースキー場とシャルマン火打スキー場も同じ評価委員でありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

評価につきましては、皆さん一緒でございます。一緒の評価になります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

であるならば、この評価票の後ろのほうに、全体評価だとかそういう評価委員会の意見というのが載っているので、そういう名簿を今後添付していただきたいんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

評価票の一番最後のほうご覧になっておられると思います。平成２６年のときには１回名簿を出させていただいたんですけども、これが選定または評価ということで、いろいろな意見をいただく中で、お名前があるとちょっと支障があるということで一旦名前を外させていただいております。ただ、ご意見をいただきながらちょっと検討してみたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）
　笠原議員。
○１１番（笠原幸江君）
　というのは、これ私今一般質問してるのは、ネットでホームページ、ネットで引き出すことができたんです。この評価票というのは全部ネットに載っておりますので、そのときに評価委員の意見があるのに誰が評価したか分からないというのは、やっぱり公の施設でありますのでね、ぜひ自信を持って評価していただくというのが一番いいのではないかと思いますので、今度載せていただくということなので、よろしくお願いいたします。
　続いて、平成２７年度からの少雪なので、そのときの評価された方たちが代替案をつくりなさい、暖冬・少雪、これからも続くかもしれないのでそれをやりなさいという、そういう代替案というのはつくってあったものなんですか。具体的にどういうものなのか、お願いします。
　〔「議長」と呼ぶ者あり〕
○議長（中村　実君）
　大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕
○商工観光課長（大嶋利幸君）
　評価をいただいた後、スキー場につきましては、やはりグリーンシーズンの入り込みが重要であるということから、ゲレンデの活用だったり駐車場を活用しての各種イベントの誘致ですとか、あと、そこに温泉もあるものですから、温泉を活用した取組についても、市と指定管理者と一緒になって協議をする中で、できることから取り組んできております。
　〔「議長」と呼ぶ者あり〕
○議長（中村　実君）
　笠原議員。
○１１番（笠原幸江君）
　それは、こちらのほうにどういうことをやらなければいけないかということを事細かく書いてあるんですけども、いわゆる少雪になった場合にグリーンシーズンで営業、利益を生む、イベントの中で利益を生むようなことをやっていかないと、こういう少雪になった場合には、それをカバーしていかなければいけないので、そこもう少し力を入れてやっていただきたいんですけど、いかがですか。
　〔「議長」と呼ぶ者あり〕
○議長（中村　実君）
　大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕
○商工観光課長（大嶋利幸君）
　おっしゃるとおり、グリーンシーズンの活用につきましては、シーサイドバレースキー場は宿泊施設もございますし、飲食する場所もございますので、そういうものを含めて総合的に入り込み客から来ていただくようなことも総合的に考えていく必要があると思っておりますので、引き続き検討を進めてまいりたいというふうに考えております。
　〔「議長」と呼ぶ者あり〕
○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それでは、これも評価員の方のものです。借地契約について指摘されております。現状、いま一度見直し、費用面でも調査検討と書いてありますが、それらについてはきちっとやられておりますか。この借地契約というのが私の中ではちょっと理解できなかった部分なんですが、その点はしっかりと再確認というか、そういうものをやられてますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

シーサイドバレースキー場につきましては、一部借地をして営業しているところがございまして、その借地契約につきまして見直すようにというご指摘でありましたが、非常にデリケートな問題でもあることですから、検討は進めておりますけども、まだそこを改善するまでには至っておりません。しかし、これは直していかなければならないものであると考えておりますので、引き続き調査、改善に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それからもう一つは、収支状況の項目を損益計算表の構成に合わせるなど改良してほしいという評価でありますが、それは正しく改良されましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

収支状況の関係であります。

複式簿記に倣いまして見やすくなるとかありますけども、今まで研究しておったわけなんですが、この冬の計画をしておりました。今現在私の案としてはございますが、今後それらを含めながら様式改定、もう一回改定をしていきたいと思います。今までも統一した様式に改定しておりましたが、さらに検討していきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それは両方のスキー場ということでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

趣旨が２つあろうかと思います。１点目は、企業が、事業者が作る収支報告書、もう１点は評価をするときの市の報告書だと思っております。業者の方におかれましては、会社の収支の項目等がございますので、急にとはまいりませんけども、まずは市のほうの評価票のほうから始めまして、それに合うような形でまた事業者のほうから作っていただくというようなこともあろうかと思ってますので、まず市のほうから始めたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

評価委員の中に税理士さんも入ってらっしゃいますのでね、しっかりとそういうところは、もう改善しなさいよというときは早目に早目に改善していかないと、いつまでも引きずるというのはよくないので、損益計算書も全く同じで、それは作ってないんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

事業者が作ります財務諸表は、やはり複式簿記にのっとりまして全て同じように作ってございます。ただ、それが市のほうの今までの単式簿記に見やすくなるような形で我々のほうで作り直すということがちょっと今手間取っておりました。事業者のほうについては作ってございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

上がってきたものを作り直すんですか。庁内で作りかえちゃうんですか。それちょっと誤解招くから、作り直すというのをちょっと余りよくないから、もう一回答弁お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

確かにそのとおりでございます。作り直すというのはちょっと語弊がございました。事業者から上がってまいります財務諸表はそのまま使わせていただいておりますし、私どもの見やすくなるように、収入、支出という、収支予算書ですか、収支決算書等に同じような形で書き換えた形で事業者からも出していただいております。その様式がまずいんだろうなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それでは、（２）の①のところに行きますが、松尾徹郎議員の一般質問で指摘を受けております。もう６年たっておりますが、ばらばらだった経理状況を報告、そういう報告書は統一されましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

提出いただく資料につきましては統一をしてございます。そのほか、今話題になっておりますのが、市で作っておるような様式がもう少し改良したほうがいいなと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

どんなところを改良、両方のスキー場の報告書を、見づらくなっているのを、はっきりと項目別にやってほしいということです。仕様書を変えたのか、報告書の項目を変えたのか、そこのところはどういうふうに、具体的にどんなところをやられた。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

嵐口財政課長補佐。　〔財政課長補佐　嵐口　守君登壇〕

○財政課長補佐（嵐口　守君）

これも大変説明が悪くて申し訳ございません。

事業者から出てまいります財務諸表等につきましては、あらかたできておりますので、それは変更する必要はないと思っております。市のほうにつきましては、今まで収支表とありますが、収入と支出、つまり私どものいう予算書と同じような収入と支出というふうに分かれておるんですけども、これを例えば営業利益、営業外利益と、複式簿記の形式に合わせてそれぞれ収入、支出というふうに分割した形で、見やすくなるのかなと思います。ちなみに、それらも含みながら、今までの収支予算書も作りながら、比較して見れるような形をちょっと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

結構、２８年度の業務評価の中の何項目かについては照らし合わせたんですけど、そんなに遜色はないんですけども、今のように、やっぱり営業してますのでね、はっきりと収入、それから支出、項目が、全くシャルマン火打スキー場とは比較することはできないけれども、ある程度の数字を合わせるときはしっかりとやっていただかないと、議会でも審議するときに、あっちひっくり返したり、こっちひっくり返したりというのは余りよくないと思うので、ぜひお願いしたいと思います。

それから、仕様書なんですけども、管理に係る協定書、両方の協定書があるんですけども、シャルマン火打スキー場の協定書の第１７条に監督員というのが明記されているんですけれども、シーサイドの中には明記されてないんですけど、これはなぜ違うんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

議員おっしゃるように、監督員の項目につきましては、シーサイドバレースキー場の基本協定書には入っておりませんが、これにつきましては、指定管理者の基本協定のひな形といいますか、基本的な項目に基づきまして作っておりまして、この監督員というのをつけておるのはシャルマン火打スキー場独自のものであるというふうに理解しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

まだ協定書の中でも、両方のスキー場の違いはあるんですけども、実は、先ほども市長の答弁にもありましたが、シャルマン火打スキー場の協定書の第３４条の経営状況の確認というのがあるんですが、提出期限が９０日以内に報告しなさいというのがあるんだけど、でも今度仕様書のほうでは5月３１日というふうにして、片方は終了後９０日、でも、今度同じ仕様書では３１日までに出しなさいと明記されている。シーサイドバレースキー場は5月３１日って書いてある。この協定書の中の仕様書の中に2つばらばらというのは、これはやっぱり統一したほうがいいと思うんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

この基本協定の中身につきましては、以前から随時見直しをしてきておりますが、おっしゃるように一部まだつじつまが合わないところも見受けられますので、引き続き内容を精査し、来年度からまた新しい協定を結ぶ予定になっておりますので、見直してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

その中に、ぜひ統一してもらいたいものがあります。備品です。備品の施設、備品等の管理物件、名称、形状、内容等、両スキー場が比較して分かるようにしていただきたいんですけど、シーサイドバレースキー場のほうがちょっとファジーに書かれてます。でも、シャルマン火打スキー場のほうはしっかりと形状まで書いてあります。これはやはり形状、それから破損、いろんなところで入替えするときに大事な項目なので、それも合わせてやっていただきたいんですけど、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるようにシーサイドバレースキー場のものには、備品につきましては、管理施設と一緒に書いておりまして、個々の備品につきまして詳細な添付をしておりませんでした。これにつきましては、早急に新年度の協定書の中から反映できるように整理をして、掲載をしてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

４番目のリスク分担についてお伺いしたいんですが、その前に、５番目の総額を先ほど市長からお伺いしました。合わせると１０億３，０００万円なんですけれども、実は、平成１０年から１７年度の間はどのようになってましたでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

その間につきましては、業務委託だったりということで、いろんな営業形態といいますか、管理形態をしておりましたことから、先ほど申しました数字は、平成１８年度から昨年度までの指定管理料と大規模修繕に係る費用を申し上げたところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

令和元年の１２月１２日に、建設産業常任委員会に提出された資料の中に、候補者の選定ルールの中に平成１０年から管理運営を行っているという記述されてます。この間の金額というのはわかりませんですかね。幾らになりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今、手元に詳細な資料を持ち合わせておりませんので、今のところ答弁はできない状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

すぐ出せるものなんですか、資料の中にあるものなんですか。もしあれば最後のところで教えていただくとありがたいんですが。というのは、要するに１０億３，０００万円以上かかってるということになるので、見えない数字がちょっと気になるので、できれば私の一般質問の後でもいいんですけども。できます。できなかったらできない。資料が手元にないというんだけどあれば。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

予算に計上している項目もいろいろあると思いますので、単純に合算できるものなのかどうか含めまして、少しお時間をいただければというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

変ですね。書いてないと知りたくなるのが議員の気質なんでしょうかね。何か7年間というのがちょっと空白になっているものですから、お願いします。

それから、リスク分担のほうに入りますが、このリスク分担については、平成２７年度は２，５００万補正がかかっております。その後も少雪のためにはどういうふうにしなければいけないかというのが、そこが評価票の中に入っているもので、いろいろ努力されているということが分かりました。

それで、このリスク分担の計算するときにはどういう書式で計算されているか、いま一度ちょっと説明していただくとありがたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

リスク分担表の中には、少雪の場合に営業期間を短縮した場合のリスクについて規定しております。それにつきましては、１つが、当該年度の指定管理業務に係る全体の支出額から収入を差し引いた額、もう１つが通常の利用期間が確保できた年度の利用料収入の直近の２カ年度の平均額から当該年度の利用料収入を差し引いた額の低い額を上限に設定するというふうになっておりまして、この上限額につきましては、内容を精査して協議により決定するものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

リスク分担の表については、説明にはそのようになってるんですが、この前年度の売上げも加算されて、例えば今年度の売上げを足して、これだけ足らなかったから、それを計算して２分の１、その中に、普通一般的に会社は、厳しい状態になったときには役員報酬とかそういうものは加味し

ないで、例えば、優先的に従業員とか物品の支払いだとか、そういうものを優先的に計算していくんですけれども、常に計算されるときは、厳しい状態になっても役員報酬というのは変わらず計上されるものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

大嶋商工観光課長。　〔商工観光課長　大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

株式会社シーサイドバレーにつきましては、その会社の中で運営をされておりますので、役員報酬をカットするとか、そういうことについては会社の中で判断して決められるものであるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

私も仕事をしていたときに、大変厳しい経営状態になったことがありまして、給料とかそういうものを一切もらわないで、品物の仕入れを優先したり、従業員の給料を優先して、自分は一切給料もらわないで、無報酬で仕事をした経験があります。会社というのは、ある程度厳しいときに、リスク分担するとき、自分たち少しでも給料を下げて、それで何とかしてほしいというのがあるのはいいんだけども、そうじゃなくて、定額の報酬料をきっちり決めておいて、それでリスク分担の中に入れて計算するというのは、私ちょっと自分の経験上からあり得るのかなと思ったんですけれども、それはどうなんでしょうかね。そういう指導というのはできるはずなんですけども、先ほども私申しましたが、きちんと法律でうたってあります。市が指導できるって書いてあるので、そういうとき、藤田副市長だったらどうされますか。その考え方聞かせていただきたいんですけど。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

藤田副市長。　〔副市長　藤田年明君登壇〕

○副市長（藤田年明君）

お答えいたします。

やはりその会社の形態がどうであるかというのも非常に重要であるというふうに思っております。いろんな多角的な経営をしている会社であるとか、今回のシーサイドバレースキー場については、スキー場の経営がほとんど１本というような中で、全く無報酬にしろというのは市として言えないと思いますし、特に今回の分については、スキー場が運営できていて赤字が発生しているという状況じゃなくて、気象条件によってもう全くスキー場が運営できないという、そういう状態でありますので、スキー場の所有者というのはあくまでも市でありますので、市として指定管理者への赤字補塡というのはやむを得ないものというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それを満額払ってというんじゃなくて、少し厳しいから１０％、少し落とさせてもらっていいですかという考え方があるかどうかなんだけど、藤田副市長それがないというので、指導的立場にある市が両スキー場のほうにそういうことができないというのであれば、もういつまでも暖冬、少雪、ますますこれから雪が降らなくなってくると思いますよ。特に、シャルマン火打スキー場は、今年は大変よかったという話は聞いておりますが、今後まだ、５月までできるかどうかというのは、はっきりまだ分からない状態ですが、シャルマン火打スキー場のほうにも、もしまたこういうリスク分担が出てくるようなことが、両スキー場に対しては、しっかりとそういうところを基準をつくっといていただければありがたいなと思っておりますけど、いま一度いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

お答えいたします。

両スキー場につきましては、今ご指摘のように、いろいろ統一的なという、スキー場という形の中では一緒なんであるわけでございますが、歴史が違う、生い立ちが違う中においては、なかなかできない部分がございます。そして、れっきとした法人でございますので、法人の中でのやはり運営をしておるわけであります。そういう中でアドバイスは出しますし、また、我々といたしましてもそういった中で、加わっていただいて、監視もしておるわけでありますが、以前からシーサイドバレースキー場においては、厳しい中で、もうこれ以上下げれないというような形をずっと続けてきておる中においては、やはり会社が回っていかなくちゃいけないわけでございますので、やはり法人の中においては、やはり取締役の報酬というのはある程度、いろんな会社回っていく中での１つの活動や事業運営をしていただいておるわけでございますので、そういった中での判断で出しておるものと捉えておるわけであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

それで、スキー場が回っていくために、グリーンシーズンをどういうふうにしてもうけるかということなんですが、少し私提案したいんですけども、例えば、根知の地域は、とてもコミュニティが活発なとこであります。地域づくりプランの中でも、スキー場の立ち位置というのはどうなっているのかなというのは気になるとこなんですが、例えば、ぜひ、匠の里創生事業の取組や健康嗜好を取り入れたクアオルト的な活用をグリーンシーズンでできないか。例えば、フォッサマグナパークがあります、塩の道資料館があります、雨飾温泉、しろ池、それから美人の湯、温泉があります、食があります、お酒があります、本当に多くの資源があの中に満載でございます。それを活用したグリーンシーズン、天から降ってくる雪を眺めているんじゃなくて、グリーンシーズンをどういうふうにして持っていくかということをぜひ研究して、スキー場として成り立たなくなったときに考えるのでなく、今からそれを、検討チームみたいなのをつくって、あそこ本当活発なコミュニティ

ができておりますので、いかがですか。それをやっていただかないと、このまま行っちゃうとスキー場パンクしてしまいます。そうであれば、できないのであれば、あれを市民のスキー場として、子供たちのスキー場として、冬だけ開放させてあげると。そういうことを、大胆な切り替えをしないと、自転車操業になってからでは遅いので、いかがですか。この公的な施設を民間の力を借りて、できるんですよ、グリーンシーズン、本当クアオルト、そんな難しいことではなくて、妙高市にもあります。私たち会派で上山へ行きましたけど、あれはまち全体を健康立国にする、新潟県の花角知事もそう申しておりますけれども、そういうんじゃなくて、それやらないと生き残りかけられないと思うんですけど、最後にいかがですか。ぜひ私の提案無理だと思います、ぜひ検討の材料にしていただきたいと思うんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

お答えいたします。

シーサイドバレースキー場におきましては、法人とはいっておりますが、市民の人たちが出資をして、多くの、市外の人もおるわけでありますが、市民の人たちが出資しておる会社でございまして、まさしく市民のスキー場といっても過言ではないと思っております。そういう中でご指摘、非常に面積もあるわけでございますが、長い歴史の中においては、やはりゲレンデの中に民間の土地もあったりして、非常に複雑な部分もあるわけでありますが、やはりそういった歴史の中で培ってきた１つの、また経験、それらを生かしながら、今、地元の人たちもいろんな面で連携をとっております。キャンドルロードなんかはまさしくそのとおりであるわけでございまして、そういったところをやはり指導したり、また、連携をしながら、まさに雪を生かした、また、土地の面積を生かしたグリーンシーズンなどをどのようにしていけばいいかというところをもう一度、やはり連携をとりながら進めていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

市長、検討じゃないんですよ、進めていただけませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

米田市長。　〔市長　米田　徹君登壇〕

○市長（米田　徹君）

私といたしましては、もう進めていく上で検討とさせていただいておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

笠原議員。

○１１番（笠原幸江君）

ありがとうございました。私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中村　実君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

次に、山本　剛議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村　実君）

山本議員。　〔３番　山本　剛君登壇〕

○３番（山本　剛君）

清政クラブの山本　剛です。

１回目の質問をさせていただきます。

１、高校を核とした地域人材育成について。

本年２月７日に地域や学校、企業など関係者が集まり、第２０回教育懇談会が実施されました。市内３高校からも参加し、各校の特色を生かした学習成果の発表が行われました。以下、質問いたします。

(1) 現在行われている高校を核とした地域人材育成事業について、市はその成果をどのように考えているか伺います。また、今後の進め方について、どのように考えているか伺います。

(2) 教育懇談会の発表で、糸魚川高校生から高校生がバスガイドをしてはとの提案がありました。市に対してこんな施設が欲しいとか、こんなことをしてほしいではなく、自ら高校生に何ができるかという内容でした。そこで、この提案を実現させてあげたいと考えていますが、市長としての見解を伺います。

２、降雨災害に関する防災・避難等について。

昨年１０月の台風１９号では、能生及び早川地区に避難勧告が出されました。その後、昨年１２月定例会では、各いろんな議員から様々な質問が出されました。私も９月定例会の一般質問で避難について質問をさせていただきましたが、地球温暖化による降雨災害が現実味を増す中で改めて質問させていただきます。

(1) 昨年の台風１９号での避難について伺います。

① 市が開設した避難所の数は何か所ですか。

② その避難所に避難した人数は何人でしたか。

③ 避難所の開設に関わった市職員の人数は、時間は、その費用は、どれだけでしたか。

④ 市が開設した避難所以外への避難人数を把握していますか。その実態を調査する必要を感じていますか。

(2) 市内に設置してある河川の水位計について伺います。

① 市内に設置してある水位計の状況はどうなっていますか。

② 今後、水位計を増設する計画はありますか。

③ 降雨時の河川監視で、この水位計で十分と考えていますか。

④ その他の方法、例えばカメラによる監視は考えていますか。

⑤ 河川の水位情報や堤防決壊などの市民への伝達方法に問題はないですか。